



## 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

11.1	住宅や基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する	2030年までに、すべての人々の、 <b>適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善</b> する。
11.2	交通の安全性改善により、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する	2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた <b>交通の安全性改善</b> により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、 <b>持続可能な輸送システムへのアクセス</b> を提供する。
11.3	参加型・包摂的・持続可能な人間居住計画・管理能力を強化する	2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の <b>参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力</b> を強化する。
11.4	世界文化遺産・自然遺産を保護・保全する	<b>世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全</b> の努力を強化する。
11.5	災害による死者数、被害者数、直接的経済損失を減らす	2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの <b>災害による死者や被災者数を大幅に削減し</b> 、世界の国内総生産比で <b>直接的経済損失を大幅に減らす</b> 。
11.6	大気や廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす	2030年までに、 <b>大気</b> の質及び一般並びにその他の <b>廃棄物の管理</b> に特別な注意を払うことによるものを含め、 <b>都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減</b> する。
11.7	緑地や公共スペースへのアクセスを提供する	2030年までに、女性、子ども、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な <b>緑地や公共スペースへの普遍的アクセス</b> を提供する。
11.a	都市部、都市周辺部、農村部間の良好なつながりを支援する	各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における <b>都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援</b> する。
11.b	総合的な災害リスク管理を策定し、実施する	2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靱さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組 2015-2030 に沿って、あらゆるレベルでの <b>総合的な災害リスク管理</b> の策定と実施を行う。
11.c	後発開発途上国における持続可能で強靱な建造物の整備を支援する	財政的及び技術的な支援などを通じて、 <b>後発開発途上国における現地の資材を用いた、持続可能かつ強靱（レジリエント）な建造物の整備</b> を支援する。